

科目名		小児と救急疾患			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	救急救命士科2年	後期	必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

小児・新生児疾患の主な症候、観察、処置などを中心に理解する。

【授業全体の内容の概要】

テキストに準じた講義。

【講師の実務経験】

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

小児に特有な疾患が理解できる。

回数	講義内容
1	小児救急総論、小児の特徴
2	小児救急疾患各論、主な疾患(熱性痙攣)
3	クループ、急性喉頭蓋炎等
4	急性腹症、HUS等
5	応急処置と搬送法
6	観察と判断
7	重症度・緊急度
8	SIDS、被虐待児症候群
	定期筆記試験

【準備学習・時間外学習】

【使用テキスト】

書籍名	著者名	出版社
救急救命士標準テキスト下巻		へるす出版
他配布資料		

【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】

終講時試験。履修規定に準じる。